

袋井市立聖隷袋井市民病院改革プラン 点検及び評価報告書

平成29年度



平成30年8月
袋井市

目 次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1 | 平成29年度事業概要 | 1 |
| (1) | 概況 | 1 |
| (2) | 診療状況 | 1 |
| (3) | 収支の状況 | 1 |
| (4) | 建設改良の状況 | 1 |
| 2 | 平成29年度事業実績 | 2 |
| (1) | 患者数の推移 | 2 |
| (2) | 紹介患者数及び逆紹介患者数の推移 | 2 |
| (3) | 入院患者紹介元医療機関の状況 | 2 |
| (4) | 常勤職員数の推移 | 3 |
| (5) | 経常収益・経常費用・経常収支比率の推移 | 3 |
| (6) | 材料費・経費の推移 | 4 |
| (7) | 入院収益・外来収益の推移 | 5 |
| 3 | 経営の効率化 | 6 |
| (1) | 経営指標に係る数値目標の状況 | 6 |
| (2) | 目標達成に向けた具体的な取組方針と結果 | 6 |
| 4 | 資料 | 11 |
| 1 | 袋井市病院事業会計収支状況 | 11 |
| 2 | 指定管理者（聖隷福祉事業団）収支状況 | 13 |

1 平成29年度事業概要

(1) 概況

平成29年度当初の稼働病床数は、一般病床50床、療養病床50床、回復期リハビリテーション病床37床でしたが、平成30年1月から新たに常勤医師1名を確保し、3月からは回復期リハビリテーション病床50床を稼働させ、全病床計150床の入院体制を整えることができました。

4月からは嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査を開始したほか、理学療法士、作業療法士を新たに確保することで9月から休祝日もリハビリテーションの提供が可能となり、365日切れ目のないリハビリテーションが行えるようになりました。

さらに、3月には老朽化したMRIを更新することにより、質の高い医療の提供を行える環境整備を進めました。

こうした取り組みにより、入院では、患者数、収益とも前年度を大きく上回る結果となり、経営の安定化につなげることができました。一方、外来では、患者数は予算を上回りましたが、単価は減少したため収入はわずかに予算額を下回りました。

結果として、聖隷福祉事業団会計においては予算を上回る利益を確保され、運営補助金が一部返還されるものとなりました。

(2) 診療状況

《入院》

延患者数は42,979人で、1日当たり患者数は117.8人となりました。前年度と比較して7,218人(20.2%)の増加、1日当たりでは19.8人の増加となりました。

《外来》

延患者数は16,608人で、1日当たり患者数は68.1人となりました。前年度と比較して1,232人(6.9%)の減少、1日当たりでは5.3人の減少となりました。

(3) 収支の状況

総収益は1,561,807,541円、総費用は1,546,108,098円となり、収益費用差し引きでは15,699,443円の純利益となりました。

また、資本的収支は、収入額225,000,000円、支出額314,439,018円となり、不足額89,439,018円(税込額105,056,473円)は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんいたしました。

(4) 建設改良の状況

資産購入では、全病床の稼働による患者数の増加に伴い、各種の器機備品を新たに購入しました。3月にはMRI更新工事が完了、高品質のMRIを導入し鮮明な画像撮影や検査時間の短縮等につなげ、医療の質的向上につなげました。

2 平成29年度事業実績

(1) 患者数の推移

| | 平成27年度(実績) | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン) | 平成29年度(実績) | 対プラン増減 |
|-----------|------------|------------|-------------|------------|--------|
| 入院患者数 | 23,901 | 35,761 | 43,800 | 42,979 | △821 |
| 入院1日平均患者数 | 65.3 | 98.0 | 120 | 117.8 | △2.2 |
| 病床利用率(%) | 75.9 | 72.8 | 80.0 | 85.3 | 5.3 |
| 外来患者数 | 16,248 | 17,840 | 15,616 | 16,608 | 992 |
| 外来1日平均患者数 | 66.9 | 73.4 | 64 | 68.1 | 4.1 |

【平成29年度実績】

入院患者数については、プランの目標数値には届かなかったものの、他の医療機関からの紹介数が増加したことや医療スタッフの充実により、患者数・病床利用率とも大きく向上しました。

外来患者数については、内科では前年度と比べて374人の増加となりましたが、脳神経外科、整形外科では合わせて1,606人の減少となりました。患者数においてはプランの目標数値は達成していますが、前年度数値を下回る実績となっています。

(2) 紹介患者数及び逆紹介患者数の推移

(単位：人)

| | 平成27年度(実績) | 平成28年度(実績) | 平成29年度(実績) | 対前年度比 |
|----------|------------|------------|------------|-------|
| 紹介患者数(人) | 930 | 957 | 969 | 12 |

【平成29年度実績】

病院や診療所からの紹介患者数は引き続き増加傾向にあり、医療機能分化・分担が順調に推進されています。

(3) 入院患者紹介元医療機関の状況

(単位：人)

| | 平成27年度(実績) | 平成28年度(実績) | 平成29年度(実績) | 対前年度比 |
|-------------|------------|------------|------------|-------|
| 中東遠総合医療センター | 118(50%) | 274(64.8%) | 285(61.8%) | 11 |
| 磐田市立総合病院 | 35(15%) | 70(16.5%) | 91(19.7%) | 21 |
| 袋井市内開業医 | 32(14%) | 22(5.2%) | 41(8.9%) | 19 |
| その他医療機関 | 50(21%) | 57(13.5%) | 44(9.6%) | △13 |
| 合計 | 235 | 423 | 461 | 38 |

【平成29年度実績】

中東遠総合医療センターと磐田市立総合病院からの紹介が全体の8割程度となっており、急性期病院の後方支援という機能を着実に果たしています。紹介数総数も順調に伸びる中、市内開業医からの紹介数も増加しており、地域医療機関との連携強化が進んでいます。

(4) 常勤職員数の推移 (※常勤職員数のみ掲載)

(単位：人)

| | 平成25年度 (開院時) | 平成26年度 (4月1日) | 平成27年度 (4月1日) | 平成28年度 (4月1日) | 平成29年度 (4月1日) | 対前年度比 |
|------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 医師 | 1 | 2 | 2 | 4 | 4 | 0 |
| 看護師、准看護師 | 16 | 21 | 31 | 48 | 61 | 13 |
| 看護助手、介護福祉士 | 0 | 2 | 14 | 21 | 25 | 4 |
| 薬剤師 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 0 |
| 臨床検査技師 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| 放射線科技師 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 |
| 理学療法士 | 2 | 5 | 7 | 14 | 18 | 4 |
| 作業療法士 | 2 | 3 | 5 | 8 | 12 | 4 |
| 言語聴覚士 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 1 |
| 管理栄養士 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 事務職員 | 6 | 7 | 11 | 15 | 15 | 0 |
| 合 計 | 32 | 47 | 78 | 121 | 148 | 27 |

【平成29年度実績】

常勤医や看護師等医療スタッフの確保・充実により、回復期リハビリテーション病棟において、許可病床数の50床での稼働を開始させることができました。

(5) 経常収益・経常費用・経常収支比率の推移

【袋井市病院事業会計】

(単位：円)

| | | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン) | 平成29年度(実績) | 対プラン増減 |
|-----------|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 経常 収益 | 医業収益 | 967,389,745 | 1,249,000,000 | 1,196,901,210 | △52,098,790 |
| | 医業外収益 | 354,817,392 | 364,000,000 | 364,906,331 | 906,331 |
| | 計 | 1,322,207,137 | 1,613,000,000 | 1,561,807,541 | △51,192,459 |
| 経常 費用 | 医業費用 | 1,296,655,488 | 1,588,000,000 | 1,529,616,966 | △58,383,034 |
| | 医業外費用 | 7,728,848 | 14,000,000 | 14,803,529 | 803,529 |
| | 計 | 1,304,384,336 | 1,602,000,000 | 1,544,420,495 | △57,579,505 |
| 経常収支比率(%) | | 101.4 | 100.7 | 101.1 | 0.4 |

【平成29年度実績】

平成29年度は医療スタッフの充実・確保などにより、休祝日のリハビリテーションの実施や全病床計150床を活用した入院体制を整えるなどした結果、延患者数が増加し、医業収入が増加しました。それに伴い、聖隷福祉事業団へ支出する診療報酬交付金が中心となる医業費用も増加しました。

【聖隷福祉事業団会計】

(単位：円)

| | | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン) | 平成29年度(実績) | 対プラン増減 |
|-----------|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 経常 収益 | 医業収益 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収益 | 1,176,785,522 | 1,444,000,000 | 1,389,310,974 | △54,689,026 |
| | 計 | 1,176,785,522 | 1,444,000,000 | 1,389,310,974 | △54,689,026 |
| 経常 費用 | 医業費用 | 1,127,888,302 | 1,336,000,000 | 1,327,454,541 | △8,545,459 |
| | その他費用 | 1,090,303 | 1,000,000 | 1,877,301 | 877,301 |
| | 計 | 1,128,978,605 | 1,337,000,000 | 1,329,331,842 | △7,668,158 |
| 経常収支比率(%) | | 104.2 | 108.0 | 104.5 | △3.5 |

【平成29年度実績】

入院患者数及び入院単価が目標数値を下回ったため、収益も目標値を下回りました。一方、費用については、人件費の抑制や、材料費、委託料等の節減に努め、費用全体を圧縮することができました。

当院は、指定管理者制度（料金収受代行制）で運営しているため、袋井市と聖隷福祉事業団の2会計で処理を行っており、医業収益は全て袋井市へ収納した後、聖隷福祉事業団へ診療報酬交付金として交付しています。

袋井市病院事業会計としては、医療スタッフの確保や新型機器の導入などにより、医業収益は着実に増加しています。経常収支比率も持続可能な経営を実現するための指標である100%を超える状況を維持しています。

聖隷福祉事業団会計として医業収益を計上していないのは、前述の診療報酬交付金がある他収益扱いとなるためです。聖隷福祉事業団では、安定した医療を提供しつつ収益性も高める取り組みも進めており、平成27年度以降は経常収支比率も100%を超えて推移しており、事業団としても持続可能な経営を展開しています。

(6) 材料費・経費の推移

(単位：円)

| | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン) | 平成29年度(実績) | 対プラン増減 |
|----------|------------|-------------|------------|-----------|
| 薬品費 | 29,690,291 | 33,467,000 | 38,183,902 | 4,716,902 |
| 診療・療養材料費 | 23,564,429 | 22,838,000 | 29,262,437 | 6,424,437 |

【平成29年度実績】

疾患の多様化により高額な薬品や診療材料を使用するケースが発生したため、材料費が増加しました。

(7) 入院収益・外来収益の推移

(単位：円)

| | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン・予算) | 平成29年度(実績) | 対プラン(予算)増減 |
|--------------|-------------|----------------|---------------|-------------|
| 入院収益(税込) 予算比 | 821,463,774 | 1,097,941,000 | 1,054,049,846 | △43,891,154 |
| 1人1日当たり収益 | 22,971 | 25,100 | 24,525 | △575 |
| 外来収益(税込) 予算比 | 109,001,150 | 102,272,000 | 100,933,682 | △1,338,318 |
| 1人1日当たり収益 | 6,110 | 6,550 | 6,077 | △473 |

【平成29年度実績】

入院においては、患者数が目標を下回ったため収益も目標数値を下回っています。

外来患者数は目標数値を達成していますが、収益は目標数値を下回っています。

1人1日当たり収益では、入院・外来とも目標数値を若干下回っています。

3 経営の効率化

(1) 経営指標に係る数値目標の状況

| | | 平成28年度(実績) | 平成29年度(プラン) | 平成29年度(実績) | 対プラン増減 |
|--------------------|----|------------|-------------|------------|---------|
| 経常収支比率 (%) | 市 | 101.4 | 100.7 | 101.1 | 0.4 |
| | 聖隷 | 104.2 | 108.0 | 104.5 | △3.5 |
| 医業収支比率(市)(%) | | 74.6 | 78.7 | 78.2 | △0.5 |
| 人件費(聖隷)(千円) | | 822,796 | 1,056,448 | 1,002,677 | △53,771 |
| 経常収益比率(%) | | 69.9 | 73.1 | 72.2 | △0.9 |
| 薬品費(聖隷)(千円) | | 29,690 | 33,467 | 38,184 | △4,717 |
| 経常収益比率(%) | | 2.5 | 2.3 | 2.7 | 0.4 |
| 診療・療養材料費(聖隷)(千円) | | 23,564 | 22,838 | 29,262 | 6,424 |
| 経常収益比率(%) | | 2.0 | 1.6 | 2.1 | 0.5 |
| 1日当たり入院患者数(人) | | 98.0 | 120 | 117.8 | △2.2 |
| 1人1日平均入院医療費(円) | | 22,971 | 25,100 | 24,525 | △575 |
| 病床利用率(%) | | 72.8 | 80.0 | 85.3 | 5.3 |
| 1日当たり外来患者数(人) | | 73.4 | 64 | 68.1 | 4.1 |
| 1人1日平均外来医療費(円) | | 6,110 | 6,550 | 6,077 | △473 |
| 患者紹介率(%) [紹介初診/初診] | | 30.5 | 32 | 37.4 | 5.4 |
| 在宅復帰率(回復リハ)(%) | | 87.8 | 60 | 85.5 | 25.5 |
| 受託検査件数(件) | | 273 | 279 | 298 | 19 |
| 常勤医師数(人)※ | | 4 | 6 | 5 | △1 |
| 看護師数(人)※ | | 51 | 57 | 67 | 10 |
| 医療技術職数(人) | | 33 | 46 | 46 | 0 |
| 患者満足度(%) | 入院 | 98.5 | 96 | 93.3 | △2.7 |
| | 外来 | 98.5 | 98 | 98.8 | 0.8 |

※医療スタッフの実績値は、各年度末の数値。

(2) 目標達成に向けた具体的な取組方針と結果

プランに掲げた19項目の取り組み方針に対し、どのように取り組んだのか内容を示すとともに、市及び指定管理者にて自己評価を行った。

【評価結果】

改善・・・11件(57.9%) 変化なし・・・8件(42.1%)
要改善・・・0件(0.0%)

ア 経費削減・抑制に向けた取り組み

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|--|---|---|
| 聖隷福祉事業団の他病院と連携し、スケールメリットを活かした共同購入(医薬品・診療材料)を推進します。 | 事業団内の各施設で使用している物品を調査し、定期的の使用物品の見直し、見積り合わせを実施しました。 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-------------------------------|---|---|
| 適正な医薬品・診療材料の在庫管理により、在庫を抑制します。 | 毎月棚卸を実施するとともに、定期的に各職場から使用していない物品の回収を行っています。余剰物品や使用期限間際のもの関連病院に交換を依頼し、適正な在庫管理、破棄の減少に努めました。 |  |

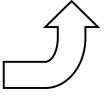
| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-------------------------|---|---|
| 適正な人員配置により人件費の上昇を抑制します。 | 内科常勤医師1名の採用、看護師及びリハビリ専門職の体制整備により回復期リハビリテーション病棟全50床の運用を開始することができました。 人件費は対前年度比21.9%増でしたが、人件費を予算額の94.9%に抑制することができました。また、経営指標である経常利益は、対前年度比25.5%増となりました。結果、人件費を抑制し利益を増加させることで、経営改善が進みました。 |  |

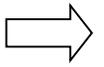
| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|--------------------------|--|---|
| 業務改善の推進により時間外勤務手当を削減します。 | 働き方改革の推進とともに各職場で業務の効率化を進めました。改善結果は、衛生委員会で情報共有され、病院全体の活動となっています。1人あたりの時間外勤務時間は、13.8時間(月間)になり、対前年度比で1割近く削減されました。 |  |

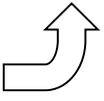
| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|---------------------------|--|---|
| 省エネ活動を推進し、エネルギーコストを削減します。 | 毎月全体朝礼にて光熱水費の結果報告を行い、省エネの意識付けを行いました。 また、事業団全体にて実施している省エネ活動への参画、ポスター掲示を実施しました。 |  |

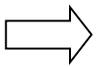
| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-----------------------------------|---|---|
| 既存委託業務について見直しを行い、競争入札により費用を抑制します。 | ユニフォームの更新にあたり、競争入札を実施。年額5,040千円から3,600千円に減額となり、年間1,440千円の費用削減につなげました。 引き続き、各費用について見直しを行い、経費の削減に努めます。 |  |

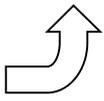
イ 収入増加・確保に向けた取り組み

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|----------------------------|---|---|
| 許可病床をフル稼働できる体制整備を早期に実現します。 | 平成30年1月に内科常勤医師1名の採用、看護師及びリハビリセラピストの体制整備により回復期リハビリテーション病棟50床の運用を開始することができ、年度内に許可病床150床全てを稼働することができました。 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|----------------------------------|--|---|
| 医療療養病床の施設基準「入院基本料20対1」を早期に取得します。 | 看護師および看護助手の必要数が満たしたため、平成29年2月より「20対1」の施設基準を取得しました。また、基準を継続するため、毎週開催している採用ミーティングに加え、学校訪問(大学、専門学校、高校等)を行いました。 訪問施設:4校 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|---------------------------------|---|--|
| 休日リハビリテーション提供体制加算施設基準を早期に取得します。 | 平成29年9月より休日リハビリテーション提供体制加算施設基準を取得しました。加算取得により回復期リハビリテーション病棟患者へ入院中切れ目のないリハビリテーションが提供できる体制となり、また約50万円/月の増収につながりました。 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-------------------|---|---|
| 上部消化管内視鏡検査を開始します。 | 平成29年1月から上部消化管内視鏡検査を開始しています。また、聖隷福祉事業団保険事業部が袋井市から受託している胃がん検診精密検査、胃がんリスク検診の精密検査を継続して実施しています。 実施件数:56件 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-----------------------|--|---|
| 嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査を開始します。 | 平成29年4月から嚥下造影検査(週1回)、嚥下内視鏡検査(週1回)を開始し、毎週順調な稼働が行えています。検査を実施することでより客観的な評価ができ、嚥下障害患者に積極的な嚥下訓練が可能となりました。 |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|------------------------------|--|----|
| 地域連携パスの稼働率の向上を図り、紹介件数を増やします。 | 平成27年度より、静岡県西部広域地域連携パス(大腿骨頸部骨折及び脳卒中)へ参加しています。院内にてクリニカルパス委員会を発足させ、地域連携パス患者受け入れ体制の整備を行いました。また、患者及びスタッフ双方に対し効率的な医療の推進のため、医療者用パス(大腿骨近位部骨折【人工骨頭置換術、骨接合術】)を作成し、平成29年4月より稼働しています。 ○平成29年度実績 委員会開催数 7回・パス利用患者35名 | ➡ |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|--------------------------|---|----|
| 地域診療所からの紹介患者を積極的に受け入れます。 | 地域診療所、介護・在宅事業所との連携体制を強化するため、平成29年11月より退院支援部門「退院支援室」を設置し、紹介・逆紹介の推進に努めました。入退院支援プロジェクトを毎月開催することで現状の課題や体制について検討でき、紹介・逆紹介件数の増加、連携医療機関の拡大につなげることができました。 ○平成29年度実績 紹介受入件数461件(病院、診療所等全て含む) | ↶ |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|-----------------------------|---|----|
| MRI・CT等、医療機器の受託検査数の増加を図ります。 | 平成29年3月に共同利用の件数増を目的に委託撮影であっても迅速な読影レポート作成システム(遠隔読影システム)を整備しました。 開業医からは迅速な読影レポートのニーズが高いため、平成30年4月より連携施設増のため訪問活動を行っています。 ○平成29年度実績 受託検査件数298件 | ↶ |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|---------------------------------|--|----|
| 診療報酬改定についての情報を収集し、適正かつ確実に対応します。 | 診療報酬改定に関連するセミナー等に参加し情報を事前収集しました。施設基準や算定要件の改定に滞りなく対応しました。 | ➡ |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|---|---|----|
| 市民が受診しやすい病院となるよう、診療体制の周知とホームページや広報誌「コスモス便り」などによる情報発信の充実に努めます。 | 病棟開設のお知らせ等、診療機能の情報提供は病院ホームページ及び広報誌「コスモス便り」などで情報発信しました。ホームページのアクセス件数を意識することにより、更に内容の充実に努めてまいります。また、リハビリ部門のブログ等は利用者及び職員採用活動にとっても有効であったため、引き続き実施します。 | ➡ |

ウ 人材確保・離職防止に向けた取り組み

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|--|---|---|
| <p>医師及び看護師の確保のため、聖隷福祉事業団の他病院との連携や人材情報の収集に努め、採用情報等を積極的に発信するとともに、働きやすい環境の整備を推進します。</p> | <p>聖隷福祉事業団内の病院事務長会及び看護責任者会で医師及び看護師の採用情報共有を行いました。看護師は、聖隷袋井市民病院の職場環境が評価され、聖隷他病院からの異動希望者が増加し、採用活動が好転しました。また、地域においても中途採用者の応募もありました。</p> |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|--|---|---|
| <p>専門医研修施設としての場を提供し、研修医の受け入れを行います。</p> | <p>平成29年4月から開始された新専門医制度における「静岡広域病院連携リハビリテーション科専門医養成プログラム」、「聖隷三方原病院内科専門研修プログラム」、「浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム」の連携施設となっています。 受入研修医師数:1名</p> |  |

| 取組方針 | 取組内容 | 評価 |
|---|--|---|
| <p>採用情報の積極的な発信を行うほか、医師紹介会社の活用など継続した医師確保に取り組めます。</p> | <p>医師は、各病院とも確保が厳しい状況である中、医師紹介会社を活用し、平成30年1月に内科常勤医師を1名採用することができました。</p> |  |

【資料1】

袋井市病院事業会計収支状況

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

| 年度 | | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (実績) | 28年度 (実績) | 29年度 (プラン) | 29年度 (実績) | 対プラン 増減 |
|--|---|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|------------|
| 区分 | | | | | | | | |
| 収 入 | 1. 医 業 収 益 a | 204 | 457 | 664 | 967 | 1,249 | 1,197 | ▲ 52 |
| | (1) 料 金 収 入 | 204 | 457 | 664 | 967 | 1,249 | 1,197 | ▲ 52 |
| | (2) そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち他会計負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2. 医 業 外 収 益 | 357 | 401 | 362 | 355 | 364 | 365 | 1 |
| | (1) 他会計負担金・補助金 | 340 | 339 | 317 | 314 | 313 | 313 | 0 |
| | (2) 国（県）補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (3) 長期前受金戻入 | 0 | 12 | 11 | 10 | 11 | 10 | ▲ 1 |
| | (4) そ の 他 | 17 | 50 | 34 | 31 | 40 | 42 | 2 |
| | 経 常 収 益 (A) | 561 | 858 | 1,026 | 1,322 | 1,613 | 1,562 | ▲ 51 |
| 支 出 | 1. 医 業 費 用 b | 544 | 824 | 991 | 1,297 | 1,588 | 1,529 | ▲ 59 |
| | (1) 職 員 給 与 費 c | 7 | 10 | 8 | 8 | 9 | 9 | 0 |
| | (2) 材 料 費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (3) 経 費 | 519 | 776 | 917 | 1,219 | 1,514 | 1,455 | ▲ 59 |
| | (4) 減 価 償 却 費 | 18 | 35 | 66 | 70 | 65 | 65 | 0 |
| | (5) そ の 他 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2. 医 業 外 費 用 | 6 | 14 | 8 | 8 | 14 | 15 | 1 |
| | (1) 支 払 利 息 | 0 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 0 |
| | (2) そ の 他 | 6 | 11 | 5 | 5 | 11 | 12 | 1 |
| | 経 常 費 用 (B) | 550 | 838 | 999 | 1,305 | 1,602 | 1,544 | ▲ 58 |
| 経 常 損 益 (A)-(B) (C) | 11 | 20 | 27 | 17 | 11 | 18 | 7 | |
| 特 別 損 益 | 1. 特 別 利 益 (D) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2. 特 別 損 失 (E) | 0 | 6 | 5 | 5 | 11 | 2 | ▲ 9 |
| | 特 別 損 益 (D)-(E) (F) | 0 | ▲ 6 | ▲ 5 | ▲ 5 | ▲ 11 | ▲ 2 | 9 |
| 純 損 益 (C)+(F) | 11 | 14 | 22 | 12 | 0 | 16 | 16 | |
| 累 積 欠 損 金 (G) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 不 良 債 務 | 流 動 資 産 (ア) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 流 動 負 債 (イ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち一時借入金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 翌年度繰越財源(ウ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$ | 102.0 | 102.4 | 102.7 | 101.4 | 100.7 | 101.1 | 0.4 | |
| 不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$ | 37.5 | 55.5 | 67.0 | 74.6 | 78.7 | 78.3 | ▲ 0.4 | |
| 職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$ | 3.4 | 2.2 | 1.2 | 0.8 | 0.7 | 0.8 | 0.0 | |
| 地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 病 床 利 用 率 | 52.9 | 68.1 | 75.9 | 72.8 | 80.0 | 85.3 | 5.3 | |

袋井市病院事業会計収支状況

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

| 年度 | | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (実績) | 28年度 (実績) | 29年度 (プラン) | 29年度 (実績) | 対プラン 増減 |
|----------------------------|------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|------------|
| 収 入 | 1. 企業債 | 565 | 308 | 66 | 0 | 275 | 200 | ▲ 75 |
| | 2. 他会計出資金 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 0 |
| | 3. 他会計負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4. 他会計借入金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5. 他会計補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6. 国(県)補助金 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 7. その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 収入計 (a) | 670 | 333 | 91 | 25 | 300 | 225 | ▲ 75 |
| | うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 前年度許可債で当年度借入分 (c) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 純計(a)-(b)+(c) (A) | 670 | 333 | 91 | 25 | 300 | 225 | ▲ 75 | |
| 支 出 | 1. 建設改良費 | 486 | 474 | 76 | 0 | 303 | 211 | ▲ 92 |
| | 2. 企業債償還金 | 0 | 0 | 18 | 108 | 120 | 119 | ▲ 1 |
| | 3. 他会計長期借入金返還金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4. その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支出計 (B) | 486 | 474 | 94 | 108 | 423 | 330 | ▲ 93 | |
| 差引不足額(B)-(A) (C) | ▲ 184 | 141 | 3 | 83 | 123 | 105 | ▲ 18 | |
| 補 て ん 財 源 | 1. 損益勘定留保資金 | 0 | 141 | 3 | 83 | 123 | 104 | ▲ 19 |
| | 2. 利益剰余金処分量 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3. 繰越工事資金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4. その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 計 (D) | 0 | 141 | 3 | 83 | 123 | 105 | ▲ 18 | |
| 補てん財源不足額(C)-(D) (E) | ▲ 184 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実質財源不足額(E)-(F) | ▲ 184 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

| | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (実績) | 28年度 (実績) | 29年度 (プラン) | 29年度 (実績) | 対プラン 増減 |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 収益的収支 | (340) 340 | (338) 339 | (315) 317 | (312) 314 | (312) 313 | (312) 313 | (0) 0 |
| 資本的収支 | (25) 25 | (25) 25 | (16) 25 | (0) 25 | (0) 25 | (0) 25 | (0) 0 |
| 合計 | (365) 365 | (363) 364 | (331) 342 | (312) 339 | (312) 338 | (312) 338 | (0) 0 |

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

【資料2】

指定管理者 聖隷福祉事業団収支状況

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

| 年度 | | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (実績) | 28年度 (実績) | 29年度 (プラン) | 29年度 (実績) | 対プラン 増減 |
|--|---|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|------------|
| 区分 | | | | | | | | |
| 収 入 | 1. 医 業 収 益 a | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (1) 料 金 収 入 | | | | | | | |
| | (2) そ の 他 | | | | | | | |
| | うち他会計負担金 | | | | | | | |
| | 2. 医 業 外 収 益 | 406 | 653 | 865 | 1,177 | 1,444 | 1,389 | ▲ 55 |
| | (1) 他会計負担金・補助金 | | | | | | | |
| | (2) 国（県）補助金 | | | | | | | |
| | (3) 長期前受金戻入 | | | | | | | |
| | (4) そ の 他 | 406 | 653 | 865 | 1,177 | 1,444 | 1,389 | ▲ 55 |
| | 経 常 収 益 (A) | 406 | 653 | 865 | 1,177 | 1,444 | 1,389 | ▲ 55 |
| 支 出 | 1. 医 業 費 用 b | 438 | 673 | 833 | 1,128 | 1,336 | 1,327 | ▲ 9 |
| | (1) 職 員 給 与 費 c | 289 | 461 | 601 | 823 | 1,056 | 1,003 | ▲ 53 |
| | (2) 材 料 費 | 23 | 46 | 59 | 77 | 86 | 96 | 10 |
| | (3) 経 費 | 31 | 48 | 57 | 68 | 44 | 78 | 34 |
| | (4) 減 価 償 却 費 | 13 | 17 | 17 | 20 | 23 | 22 | ▲ 1 |
| | (5) そ の 他 | 82 | 101 | 98 | 140 | 127 | 128 | 1 |
| | 2. 医 業 外 費 用 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| | (1) 支 払 利 息 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | (2) そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 経 常 費 用 (B) | 439 | 674 | 833 | 1,129 | 1,337 | 1,329 | ▲ 8 |
| 経 常 損 益 (A)-(B) (C) | ▲ 33 | ▲ 21 | 32 | 48 | 107 | 60 | ▲ 47 | |
| 特 別 損 益 | 1. 特 別 利 益 (D) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2. 特 別 損 失 (E) | 0 | 0 | 11 | 15 | 107 | 60 | ▲ 47 |
| | 特 別 損 益 (D)-(E) (F) | 0 | ▲ 0 | ▲ 11 | ▲ 15 | ▲ 107 | ▲ 60 | 47 |
| 純 損 益 (C)+(F) | ▲ 33 | ▲ 21 | 21 | 33 | 0 | 0 | 0 | |
| 累 積 欠 損 金 (G) | | | | | | | | |
| 不 良 債 務 | 流 動 資 産 (ア) | | | | | | | |
| | 流 動 負 債 (イ) | | | | | | | |
| | うち一時借入金 | | | | | | | |
| | 翌年度繰越財源(ウ) | | | | | | | |
| | 当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ) | | | | | | | |
| | 差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$ | 92.4 | 96.9 | 103.8 | 104.3 | 108.0 | 104.5 | ▲ 3.5 | |
| 不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$ | | | | | | | | |
| 医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$ | | | | | | | | |
| 地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$ | | | | | | | | |
| 病 床 利 用 率 | 52.9 | 68.1 | 75.9 | 72.8 | 80.0 | 85.3 | 5.3 | |

※聖隷福祉事業団会計では、企業債や他会計負担金などに該当する項目がないため、「2. 収支計画（資本的収支）」は省略しております。